



学校だより



墨田区立第三吾嬬小学校
校長 川中子登志雄
令和3年3月1日
3月号

アウトフット(活用)が鍵

校長 川中子 登志雄

突然の全国一斉休校から1年、そしてあの東日本大震災から10年目の3月を迎えました。本当に、大変な1年間でした。今日まで私たちが元気でいられることは、奇跡でもあります。ありがたいことです。

このように予想だにしないことが起こりうる時代を、しなやかに前向きに生き抜いていくために必要なのは、本校の教育目標「自立-自ら学び、考え、行動する人」「共生-思いやりをもち、共に生きる人」「健康-しなやかで丈夫なところとからだをもつ人」であるという信念の元、コロナ禍の教育活動を進めてまいりました。保護者や地域の皆様のご理解とご協力をいただき、この状況の中としては、よい成果をあげることもできました。ありがとうございました。

1月に当初より予定していた本校独自の学習状況調査(学力テスト)を全学年で実施しました。予想はしていましたが、昨年7月に実施した調査と比較して、結果は大幅に下降しています。これは、コロナの影響もありますが、やはり、この結果が今の三吾小の子供たちの実態なのだと、謙虚に受け止めております。

2月に、各学級の授業の様子を撮影した動画を学級ごとに配信しましたので、今の学級の様子や子供たちの学習態度の一端をご覧いただけたことと思います。私が見ても、今の子供たちの学習態度は大変良好で、どの学級でも、授業中にしっかりと学習が行われています。これは、当たり前のように聞こえるかもしれませんが、なかなかそうとも言いきれないのが普通の学校の姿です。三吾小の子供たちの学校における学習状況は、「普通」ではなく、大変「良好」な状態なのです。

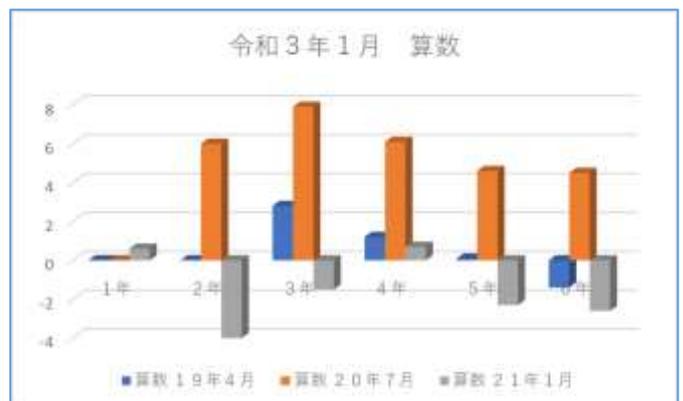
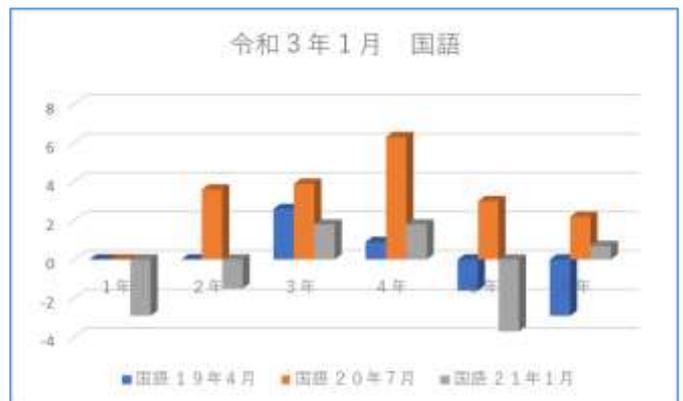
それではなぜ、

学力調査の結果は下がってしまうのか？

昨年度・平成31年4月、今年度・令和2年7月に行われた墨田区学習状況調査の結果と、今回の結果を比較するグラフを作ってみました。(右グラフ参照)

ご覧の通り今年度の7月に行われた調査の結果は大変良好で、区でこの調査が行われるようになってから最高の結果でした。この違いはどこから生まれたのかというと、テストの前に振り返りの学習、特にテスト形式での練習をたくさんしたからだったわけです。

【過去3回の、全国平均を0としたときの標準偏差】



「テスト(形式)」というのは、今まで学習して身に付けた知識・技能を、適切なタイミングと方法で「アウトプット」することです。対して、授業中の子供たちの学習というのは、主に学習内容を理解し、知識や技能を「インプット」していると考えていただくと両者の違いがはっきりするのではないのでしょうか。本校の子供たちは、今、「インプット」は大変よく頑張っています。しかし、それだけでは十分ではないということが、1月の結果でよく分かります。

保護者の皆様が受けてきたこれまでの教育は、主にインプットをいかに効率的に行うかが重視されていました。インプットがうまくいけば、自然にアウトプットもできるようになる(はずだ)と思われていたのです。しかし、今、私たちが子供たちに付けさせようとしているのは、知識・技能そのものだけでなく、子供たちが、身に付けた知識・技能を実際に活用して、様々な問題解決を図る資質・能力です。よく、「学校の勉強はわかるんだけど、外部の実力テストや入試問題ではいい点が取れない」ということがあります(私自身もそうでした!)が、それは、アウトプットの練習を、適切に行う機会が圧倒的に少ないせいです。また、アウトプットの経験を積むことによって、インプットが促進され知識・技能の定着も進むということも分かってきました。アウトプットの練習は、学校でも行っていますが、最終的には子供たちが自分でできるようにならなければなりません。そのために、今年度は特に、授業における学習過程(学習の進め方)について全教職員で研究を行ってきました。

もちろん、テストで測れる力だけが「学力」なわけではありません。しかし、テストの点に現れるのも「学力」の一つの姿なのです。今、学校の授業では、そういうことをはっきりと意識して学習をさせています。

三吾小の子供たちは、**授業中にしっかりと学習に取り組むことができる、というレベルをクリア**しています。さらに、**タブレット端末を活用して、学習を深めることもできる**ようになっています。次に目指すのは、**適切なアウトプットの機会を増やし、練習をして、さらに高い、生きて働く確かな「学力」を身に付ける**ことです。

3月は1年間のまとめの月です。この1年間で学んだ成果を、正しく発揮できるようにさせる振り返り学習に取り組んでいきます。ご家庭での励ましをよろしくお願いいたします。



i-Pad の使用状況はいかがですか？

タブレット端末の持ち帰りが始まってひと月になりますが、家庭での使用状況はいかがでしょうか。一つの活用方法として、毎日の健康観察(検温)の報告にも取り組み始めています。ご家庭でのご協力、よろしくお願いいたします。

使い方については、「3つの決まり」と「10の注意点」に基づいて指導をしております。学校から配布した i-Pad は学習用ですので、学習に関係のない使い方をしている場合は、注意を促しています。中には、大量の画像(アニメのイラスト画像など)を取り込んで保存して、授業中に眺めていたり、他の児童の写真を撮って、加工して遊んでいたりするようなことも見られます。また、他校では、オンラインゲームなどにアクセスして課金するようなトラブルも報告されています。定期的にお子さんの活用状況をご確認ください。



令和3年度より ペーパーレス化を進めます

タブレット端末の持ち帰りに伴い、来年度より学校便り、各学年便りをオンライン配信に切り替えることにしました。(行事予定表はこれまで通り、紙でプリントしたものをお配りします。)

ホームページ上にアップロードし、連絡メールにてお知らせします。児童用タブレット端末でも見られるようにします。発行日はこれまで同様、各学年便りが前月の24日、学校便りは当月1日を基本とします。

これにより、**動画での情報発信も充実**させていくつもりです。ご理解・ご協力をお願いします。